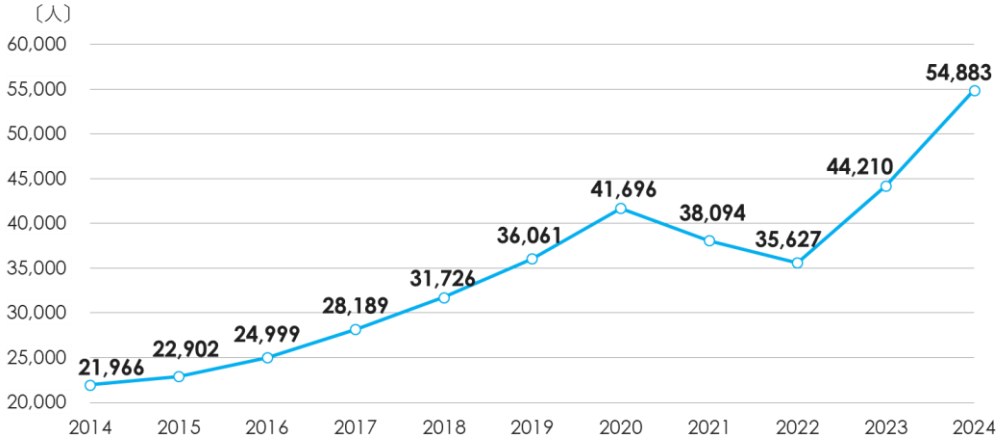


6 外国人の人口動向

本道における総人口の減少が続く中、外国人の人口はコロナ禍の影響が大きかった2021（令和3）年と2022（令和4）年には減少したものの、コロナ禍が収束した2023（令和5）年には再び増加しており、2024（令和6）年では2022年の1.5倍程度となっている。

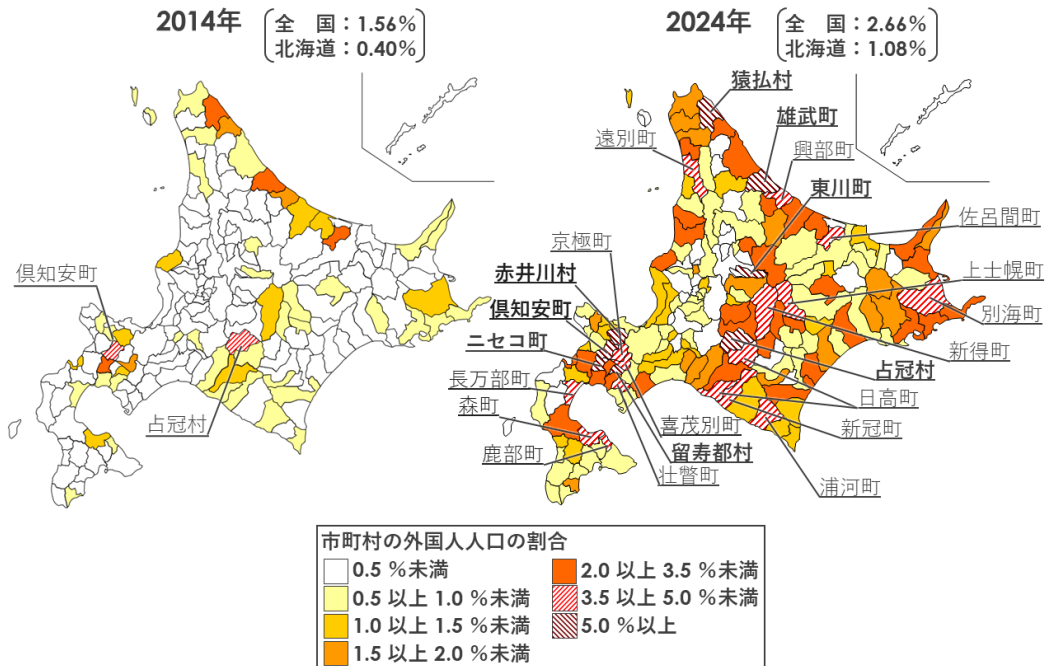
外国人人口の推移（北海道）



総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」※各年の1月1日人口

総人口に占める外国人人口の割合は、道全体で2014（平成26）年の0.40%から2024（令和6）年には1.08%まで上昇している。また、市町村別に見ても、外国人の割合が上昇している市町村の数が増えてきている。

市町村別外国人人口割合の推移



総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」より
北海道総合政策部において作成

また、2023（令和5）年に転入超過であった道内の46市町村の内、21市町村が外国人の影響によって、転入超過となっている。

**外国人の影響による転入超過市町村
（2023年1～12月）**

市町村名	転入超過数(人)		
	日本人	外国人	
倶知安町	925	-200	1125
ニセコ町	413	-19	432
赤井川村	256	-16	272
占冠村	207	-8	215
留寿都村	162	-28	190
新得町	67	-18	85
新冠町	26	-9	35
長万部町	24	-5	29
真狩村	23	-4	27
白老町	23	-33	56
音更町	23	-23	46
雄武町	19	-44	63
猿払村	17	-28	45
上川町	14	-30	44
妹背牛町	11	-9	20
興部町	11	-52	63
寿都町	8	-24	32
鶴居村	7	0	7
士幌町	6	-5	11
積丹町	5	-2	7
白糠町	5	-71	76

総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」

【外国人の転入理由】（上記市町村からの聴き取りによる）

- ・ 観光業・宿泊業の雇用増加による外国人従業者の転入
- ・ 農業、水産業、建設業、製造業等の外国人技能実習生受入による転入
- ・ 近隣市町村で従事する外国人労働者の居住のための転入